

シンポジウム「テラヘルツ科学の最先端V」プログラム

2018年12月6日

開始時間	終了時間	講演番号	講演者/担当者	演題/作業内容
9:30	9:40	Ope1		開会挨拶
9:40	10:10	Inv1	尾松 孝茂(千葉大)	光の角運動量はテラヘルツフォトニクスを変えるか?
10:10	10:25	Con1-AS	佐藤和人(慶應大)	誘電体フリーなテラヘルツ帯ルネベルグレンズの実現
10:25	10:55	Bre1		
10:55	11:25	Inv2	岡野 真人(慶應大)	テラヘルツ偏光分光による黒色ゴム複合材料の研究:基礎物理と応用展開
11:25	11:40	Con2-A	鈴木大地(理研)	テラヘルツ帯ウェアラブル検査デバイスの開発と検査応用
11:40	12:25	Exi1-6	企業名	*社x 各*分(切り替え時間1分含む)
12:25	13:55	Lun1		
13:55	14:10	Con3-A	吉峯功(理研)	光パルスを用いた高強度テラヘルツ波発生における偏光・周波数制御
14:10	14:25	Con4-AS	金山真弓(京大)	テラヘルツ全反射減衰分光法によるヒト皮膚内部の質量含水率の測定
14:25	14:55	Inv3	鈴木 晴(近畿大)	テラヘルツ分光法で探る分子性固体の構造と物性
14:55	15:25	Bre2		
15:25	15:40	Con5-AS	織田祥成(福井大)	金属スピントロニック素子によるTHz波放射の励起光波長および出力依存性
15:40	15:55	Con6-AS	栗原貴大(千葉工大)	周波数シフトテラヘルツ波による距離計測
15:55	16:25	Inv4	富士田 誠之(大阪大)	フォトニック結晶と共鳴トンネルダイオードの融合とテラヘルツ応用
16:25	16:40			
16:40	18:20	Pos01-25		
18:20	18:40	Bre3		
18:40	20:10	Par1		

2018年12月7日

開始時間	終了時間	講演番号	講演者/担当者	演題/作業内容
9:30	10:00	Inv5	森田 健(千葉大)	半導体結合共振器構造を利用したテラヘルツ波発生
10:00	10:30	Inv6	寶迫 巖(NICT)	テラヘルツ無線通信に適している周波数帯はどこなのか? ~ デバイス、システム、および標準化の観点から ~
10:30	10:45	Con7	鈴木左文(東工大)	高調波注入同期のためのRTDテラヘルツ発振器の提案
10:45	11:15	Bre4		
11:15	11:45	Inv7	河野 孝太郎(東京大)	テラヘルツ波を用いた光計測および分光計測の天文物理学分野における最前線
11:45	12:15	Inv8	宮丸文章(信州大)	金属構造を用いた空間的・時間的なテラヘルツ波制御のための光学素子
12:15	13:45	Lun2		
13:45	14:15	Inv9	増田 則夫(NECネットワークセンサ)	テラヘルツ光源高出力化の取り組み
14:15	14:45	Inv10	菱田 真史(筑波大)	テラヘルツ分光のソフトマター物理・生物物理への応用:水和と自己組織化
14:45	15:15	Bre5		
15:15	15:45	Inv11	山口 淳(パイオニア)	電子デバイスを用いたテラヘルツイメージングシステムの3Dプリンター・レーザー加工による3次元人工構造テラヘルツ光学素子の開発
15:45	16:15	Inv12	小西 邦昭(東京大)	
16:15	16:30	Cer1		
16:30	16:45	Clo1		閉会挨拶